

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2017-38712(P2017-38712A)

【公開日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-008

【出願番号】特願2015-161399(P2015-161399)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月21日(2018.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を表示可能な画像表示手段と、  
前記画像表示手段に表示される画像を制御可能な制御手段と、  
を備え、  
前記制御手段は、  
第 1 画像と第 2 画像とが一体的に表示された第 1 表示態様と、前記第 1 画像と前記第 2 画像とが異なる位置に表示された第 2 表示態様とを前記画像表示手段に表示する制御を実行可能であり、かつ、該第 1 表示態様が表示された後に、該第 2 表示態様が表示される特定表示制御を実行可能である遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 表示態様が表示された後に、前記第 1 画像と前記第 2 画像とが一体的に移動し、前記第 1 画像が第 1 位置で表示され、その後、前記第 2 画像は該第 1 位置と異なる第 2 位置まで移動可能である請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技者の操作を検出可能な操作検出手段を備え、  
前記第 1 画像と前記第 2 画像とが一体的に移動している所定の期間において前記操作検出手段により操作が検出されたときに、前記第 1 画像を前記第 1 位置で表示可能である請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る遊技機は、上記目的達成のため、画像を表示可能な画像表示手段（液晶表示装置 1 1）と、前記画像表示手段に表示される画像を制御可能な制御手段（サブ CPU 1 0 2 及びレンダリングプロセッサ 1 0 5）と、を備え、前記制御手段は、第 1 画像と第 2 画像とが一体的に表示された第 1 表示態様（例えば、図 1 2 2 参照）と、前記第 1 画像

と前記第 2 画像とが異なる位置に表示された第 2 表示態様（例えば、図 1 2 4 参照）とを前記画像表示手段に表示する制御を実行可能であり、かつ、該第 1 表示態様が表示された後に、該第 2 表示態様が表示される特定表示制御を実行可能である構成を有している。この構成により、本発明に係る遊技機は、第 1 画像と第 2 画像とを一体的に表示させる第 1 表示態様で表示させた後に、第 1 画像と第 2 画像とを異なる位置に表示させる第 2 表示態様で表示させるため、表示制御にかかる処理負荷を低減することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

なお、本発明に係る遊技機において、前記第 1 表示態様が表示された後に、前記第 1 画像と前記第 2 画像とが一体的に移動し、前記第 1 画像が第 1 位置で表示され、その後、前記第 2 画像は該第 1 位置と異なる第 2 位置まで移動可能であってもよい。また、本発明に係る遊技機は、遊技者の操作を検出可能な操作検出手段（ストップスイッチ 1 7 S）を備え、前記第 1 画像と前記第 2 画像とが一体的に移動している所定の期間において前記操作検出手段により操作が検出されたときに、前記第 1 画像を前記第 1 位置で表示可能であってもよい。